

かぞくなかよしのおうどん

小学一年 川しま ゆうゆ

水よう日はおとうさんのおしごとがおやすみなので、なつやすみはあさからずっとあそんでくれます。そしておひるごはんは天ぷらのすきなおばあちゃんとちかくのおうどんやさんにいきます。いつものようにおうどんをたべていると、ぎゅっとむすばれたおうどんが一本ありました。それをみたおかあさんが「まるでゆうゆとおとうさんみたいだね」といいました。「なんで?」「ときくと、」おとうさんとゆうゆはずっとつながっていて、むすばれていてなかよくしているからだよ」といいました。それをきいてわたしは、「じゃあおばあちゃんとおとうさんもむすばれているね」といったら、おばあちゃんが「すぐうれしそうにしてくれました。おばあちゃんはわたしがうまれたことを一ばんよろこんでくれた人で、げんきがでてびょうきがとてもよくなったそうです。ま「のおとうさんと、ひま「のわたし。ずっとつながっていてうまれてきたのだね。というおはなしをみんなで見ました。わたしはよくじぶんの子どもなまえをかんがえます。「あちゃんと「ろくん、のちゃん、りくん、りらちゃん、はるか、たくさんなまえをかんがえます。おかあさんは「いまからゆ

うちのんのうむあかちゃんがたのしみ。たくさんおてつだいするよ
ー」とっています。かぞくがいつまでもなかよく、きょうのおうど
んみたいにむすばれていたら、しあわせだね。というおはなしをしま
した。

うどんを食べるときは、これからはなかよしのうどんをさがして
みたいです。